# 技 術 概 要 書 （様式）

※別紙2

| | | | |
|---|---|---|---|
| 出展技術の分類 | 安全・防災　インフラDX　維持管理　環境　コスト　品質　（該当分類に〇を付記） | | |
| 技術名称 | 河川用ゲート設備の監視支援システム | 担当部署 | 営業本部　九州営業グループ |
| NETIS登録番号 | ＱＳ－２２００４６－Ａ | 担当者 | マネージャー　林田　聖二 |
| 社名等 | 西田鉄工株式会社 | 電話番号 | 0964－23－1111 |

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

従来の河川用水門・樋門ゲート設備では、操作員が川表・川裏に設置してある量水標等の水位を機側監視し、操作水位と判断した場合にゲート操作行っていたが、近年頻発するゲリラ豪雨および操作員の不足・高齢化に伴う安全確保に懸念があった。そこでゲート操作前の水位等監視が軽減できる支援システム開発が必要と考えた。

２．技術の内容

本技術は河川用ゲート設備の監視に関する技術である。監視カメラの動画データを遠方のパソコンで画像解析し、「流向」「水位」「人体」を表示するもので、従来は操作者が機側に待機して監視していた。本技術の活用により、操作者の安全性が確保できる。

３．技術の効果

操作員が機側で監視する必要がないため、危険要因が減少する。
操作員避難後の監視が可能である。

４．技術の適用範囲

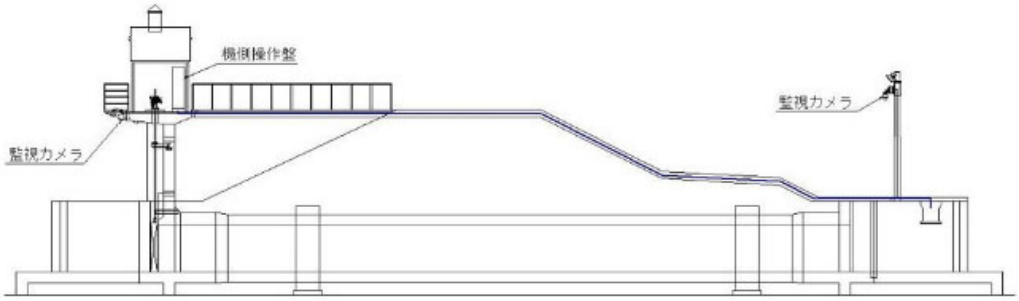
・河川用ゲート設備のうち、引き上げ式ゲート（ローラゲートやスライドゲート）の樋門・樋管・水門
・水位計や流向計が既に設置されている遠隔制御対応のゲート設備の機器バックアップとしても活用可能

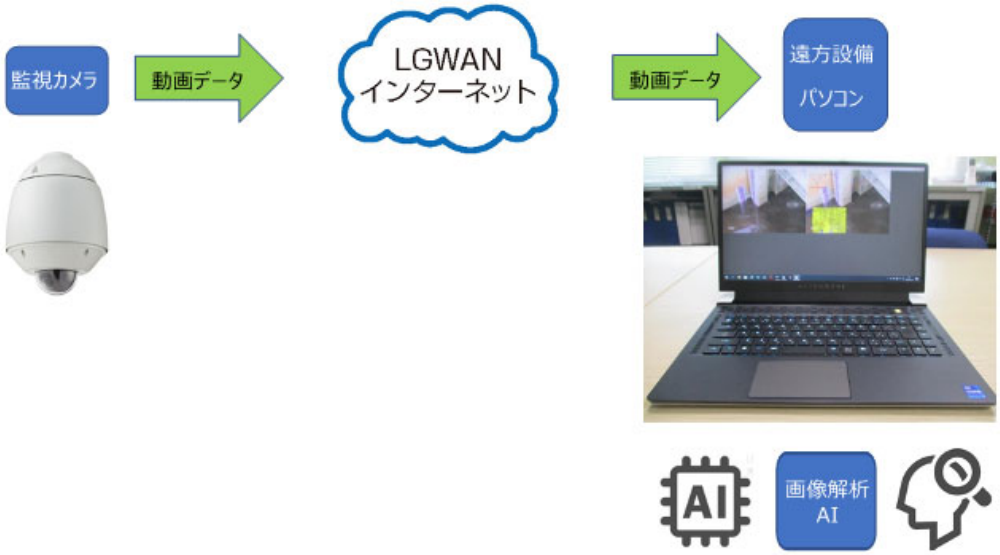
５．活用実績

国の機関　０　件　（九州　0件　、九州以外　0件　）
自治体　０　件　（九州　0件　、九州以外　0件　）
民　間　０　件　（九州　0件　、九州以外　0件　）

## 6. 写真・図・表

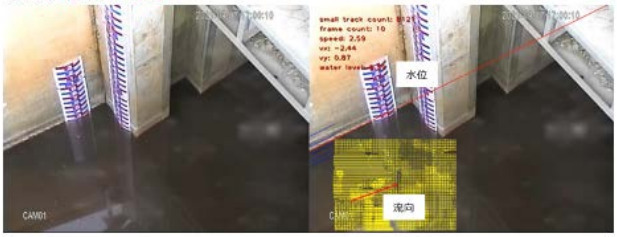
<システム構成>




<概要図>

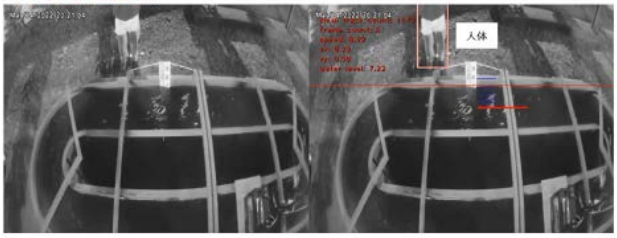
①「流向」と②「水位」




解析無し　　解析中

図２　パソコン画面の流向と水位

③「人体」：AI解析




解析無し　　解析中

図３　パソコン画面の人体

<検証状況>

図４　検証写真